

実践テーマ

いろいろな花、葉、実などの汁をとって遊ぶことを通して
植物を調べる楽しさを味わわせる。

1 単元名 いろみずをつくろう

2 単元の目標

いろいろな花、葉、実などから汁をとったり、その汁を使って遊んだりしながら、色、におい、手触りなどを手がかりにして、その汁の特徴に気付かせ、植物の美しさや自然の巧みさ、不思議さに関心を持たせ、植物に接する楽しさを味わわせる。

3 指導計画（総時数 7時間）

- (1) 色水をつくろう …………… 5時間
- たたきぞめをしよう …………… 1時間
 - いろいろな草花から、色水をとろう …………… 1時間
 - 信夫山から色水のとれそうな草花をあつめてこよう …………… 1時間
 - あつめてきた草花で色水をつくろう …………… 1時間
 - くだものや、やさいで色水をつくろう …………… 1時間
- (2) 色水をつかったあそびをしよう …………… 2時間
- 色水で絵をかこう …………… 1時間
 - あぶりだしをしよう …………… 1時間

4 児童の実態

児童のまわりには、いろいろな植物がある。その中で庭の樹木や花壇の花を見たり、道端に生えている草花を見たりするなど、様々な機会に身の回りの植物に接している。またこれまで、児童は自分の手で土をつくり、アサガオのたねをまいて水をやったり支柱を立てたりしながら、一人一人が自分のアサガオという気持ちで世話をし、育ててきている。

このように、児童は日常、植物に接しているが、たんに表面的にみているだけであり、草花をただ鑑賞するものとしか意識していない。

問1 色水をとったことは、ありますか。 児童 38名

- なんかいもあります 7人（18%）
- すこしあります 24人（64%）
- ぜんぜん ありません 7人（18%）

問2 色水がとれるものには、どんなものがありますか。たくさんかいてください。

- アサガオからとれると答えた児童 38人（100%）
- やさいからとれると答えた児童 8人（21%）